



**Digital marketing**

**DIGITAL WORK**

**MICE**

**Tourism promotion**

**workation**

デジタルワークファクトリー推進プロジェクト分科会  
地方創生SDGs デジタルワークで地域の未来を拓く

## 分科会概要

名称：地方創生SDGsデジタルワークファクトリー推進プロジェクト分科会  
SDGs Digital Work Factory Promotion Project Subcommittee

推進機関：内閣府

推進母体：地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

分科会参加メンバー：14社（会員12社／非会員2社） ※2020年8月19日時点

分科会設立申請者：スマートワーク株式会社（代表取締役 吉田徹）

推進内容：①デジタルワーク人材育成（教育研修）  
②クラウドソーシング型就業機会創出（スマートワーク）  
③地域事業者のデジタル化推進（地域産業振興）  
④ワーケーション推進／移住・定住促進  
⑤地方と大都市圏のデジタルワーカー交流促進  
⑥Education & Workスペース（施設）企画・運営支援  
⑦デジタルワーカーサポート（相談窓口、福利厚生など）

活動内容：上記推進内容を実現するために必要な分科会活動

- ①地方（地域）のニーズ調査&シーズ創出
- ②対象自治体への企画提案
- ③地域金融機関との連携（共催セミナー等）
- ④テーマに沿った各種セミナー及び相談会の開催

## 分科会参加メンバー企業

### 地方創生SDGsデジタルワークファクトリー推進プロジェクト分科会

	企業名
1	NEC 東日本統括支社（長野）
2	NECソリューションイノベータ 北海道支社
3	DACホールディングス
4	JWPP（一般社団法人日本ワークパフォーマンス協会）
5	クレコラボ
6	イングリウッド
7	デジタルハリウッド
8	スマートワーク
9	日本航空（JAL）
10	ママスクエア
11	いいオフィス
12	ホスピタリティエージェント
13	アスノシステム
14	エッセンス

## ■ 設立背景

現在、日本は人口減少社会に突入し、同時に少子高齢化社会が急速に進んでおり、企業は労働力人口の減少に伴い人材確保が困難な状況を強いられています。同時に地域格差は一層加速し、若年層の大都市部への流出による地方の疲弊化が社会問題化しています。このような時代において新しい世代の価値観により労働環境および働き方が急激に変化し、クラウドソーシングやテレワークの発達も伴いデジタルワークを中心としたフリーランスの価値や期待が高まっています。

正社員・非正規社員の枠に捉われずパラレルワークや副業または独立系フリーランスとして自立するデジタルワーカーは年々増加しており、一方で企業側も新しい働き方への柔軟な対応を進め始めています。

また国・地方自治体は、1億総活躍社会を目的とした地方創生に積極的な取り組みを実施しており、併せて働き方改革の推進を行なっています。

一方でこれらの新しい働き方を目指すデジタルワーカーたちを育成し、安定した仕事を供給する仕組みが確立されていらず、サポートする体制や環境が未整備です。これらの現状は地方への移住・定住促進への大きな課題にも繋がっています。まさに働く環境整備と地域格差のない仕事供給プラットフォームが不在な状況です。

デジタルに特化した人材を育てながら仕事をクリエイイトし、新たな業務を創造していくことにより、個人、産業、地域に対して広く新しい価値を創造していくことが社会全体として急務です。

当分科会は上記社会背景と市場ニーズに基づき設立され地域自治体及び金融機関と連携し地方創生SDGsの実現を目指します。

## 事業ビジョン

リモート社会におけるデジタルコミュニケーション分野の進化のもと、「人」、「クリエイティブ」「産業」「社会」を有機的にむすびつけ、新しい「産業」、「仕事」、「生きがい」、「価値」、「カルチャ」を創造するプラットフォームを目指します。

社会環境の変化や進化の時代にともない、市場ニーズやタイミングによって情報、ビジネス、技術、表現に対応できる優秀な創造活動人材の資源を効率的に効果的に活用するシステムが益々必要になってきます。

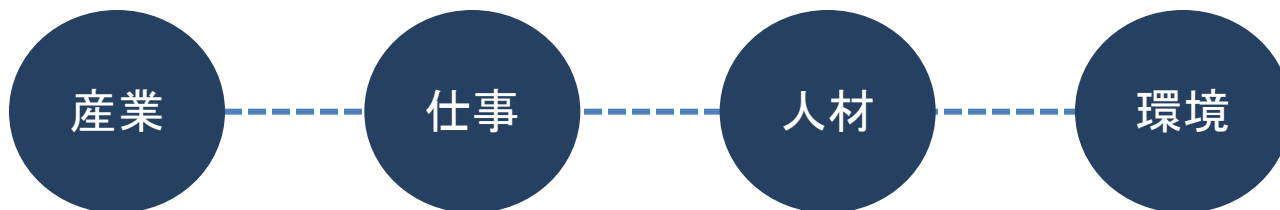
同時に人材育成と人材活用の機会（場）となるプラットフォームの存在が必要です。

この人材活用システムは企業のコスト削減のための人材資源確保だけにとどまらず、企業や地域の「新しいモノを生み出す」活動に積極的に参画でき、「新しい商品」、「新しいサービス」、「新しい仕組み」を生みだし、「新しい仕事」の創造と企業や地域の経済的成果につながる「新しい価値」を創造する「地方創生SDGs推進システム」であることが重要で継続的かつ恒常的に創造し続けるためのマネジメント機能が必要となります。

また、人材、企業、地域ともに、進化する市場ニーズに应变、対応、成長できる仕組み（教育や学びの循環）と併せて、創造活動を通じた「やりがい」「生きがい」が生まれる仕組の提供と生活水準の向上が実現するシステムが求められます。

情報のスピードと双方向性を目指してきたデジタルコミュニケーションを地域格差のない環境整備することでより強固にし、「地域」「産業」における人材資源の共有基盤の強化と創造活動連携およびビジネス連携を図ることで、社会全体に対して、新しい価値を提供できることを確信し、賛同する個人・企業・金融機関・行政機関でこの新しい事業を推進いたします。

1億総活躍社会の実現と日本の未来における新しい社会基盤の確立を目指します。



個人

DIGITAL WORK



デジタル人材育成

事業者

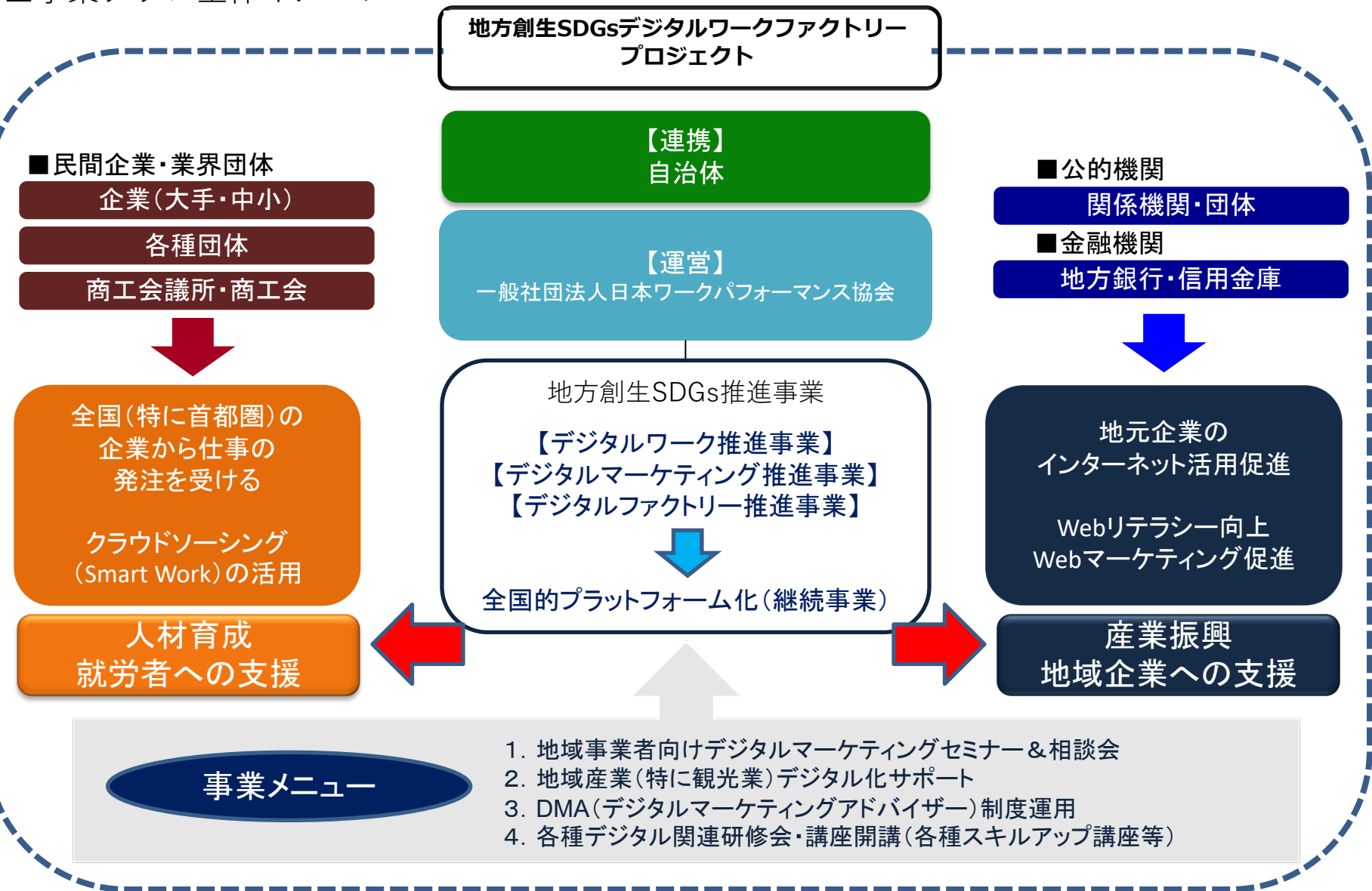
Digital marketing



デジタルマーケティング支援

地方創生SDGs実現：デジタル活用型の働き方改革&産業振興の両立

■事業プラン全体イメージ



# デジタルワーク推進事業企画提案書

## 「地方創生デジタルワークファクトリー構想」

デジタルワークでの就労・就業を創出し  
地方創生を実現します！

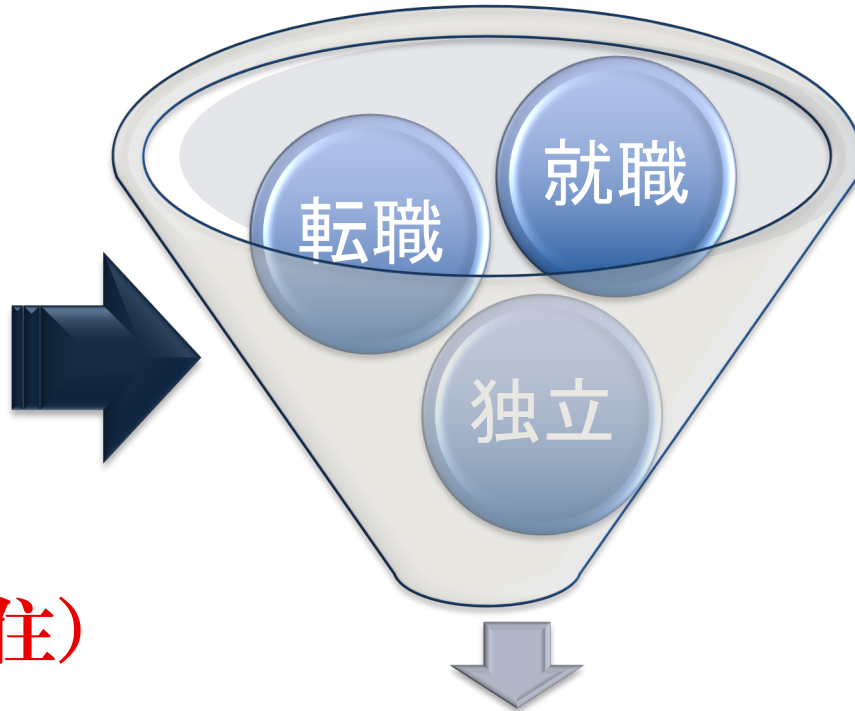




■ 本事業の趣旨**就業形態にとらわれない働き方の実現**

就業形態にとらわれない働き方の知識と意識を植え付け、ライフイベント(生涯形成上に起き得る様々な出来事)に応じて柔軟に対応する働き方を選択する能力及び自らの目的実現の為に最適な働き方を選択できる能力を発揮できるようにするものです。

ライフイベント  
ライフスタイル  
自己実現 (夢)  
社会・経済情勢  
外的要因  
生活エリア (移住)



柔軟な働き方を選択

## ■デジタルワーク推進事業企画

### ■本事業の趣旨

## 就業地域にとらわれない働き方の実現

デジタルコミュニケーション (ICT) を最大限活用したワークスタイル (デジタルワーク) を推進することで就業地域にとらわれない働き方が可能となり、実践する人材こそが地方の未来を担うキーマンになります。

地域格差 = 「仕事がない」 ⇒ 定住・移住不可能



地域活性 = 「仕事がある」 ⇒ 定住・移住可能



デジタルワークの推進  
【地域格差なき就業環境整備】



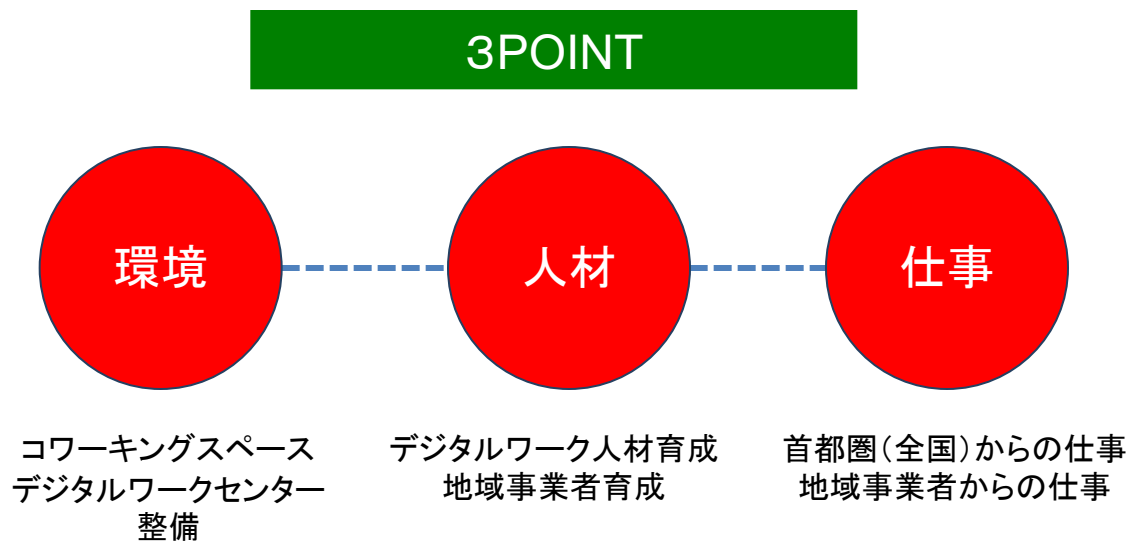
地方



首都圏

テレワークによる実現

## 【デジタルワーク推進事業プラン】



「全地域・全市民・全事業者へのデジタルコミュニケーション推進」



地域振興 = (観光振興 / 産業振興 / 教育振興)

地域福祉 = (ひとり親家庭等支援 / 障害者支援 / ニート支援)



**移住・定住促進**

# 📡 デジタルワーク（テレワーク）推進事業

「テレワーク実践支援事業」はWebデザイナー養成講座の受講生等を対象に新たな就業形態（受注形態）としてインターネットを最大限活用したテレワークを推進し、実際のビジネス実践における指導並びにサポートを実施します。受講生が身につけたスキルを最大限活かし収入確保を実現します。更に地元企業のインターネット利活用の促進を図り、地元企業からの業務委託が発生するような循環を生み出す事業です。

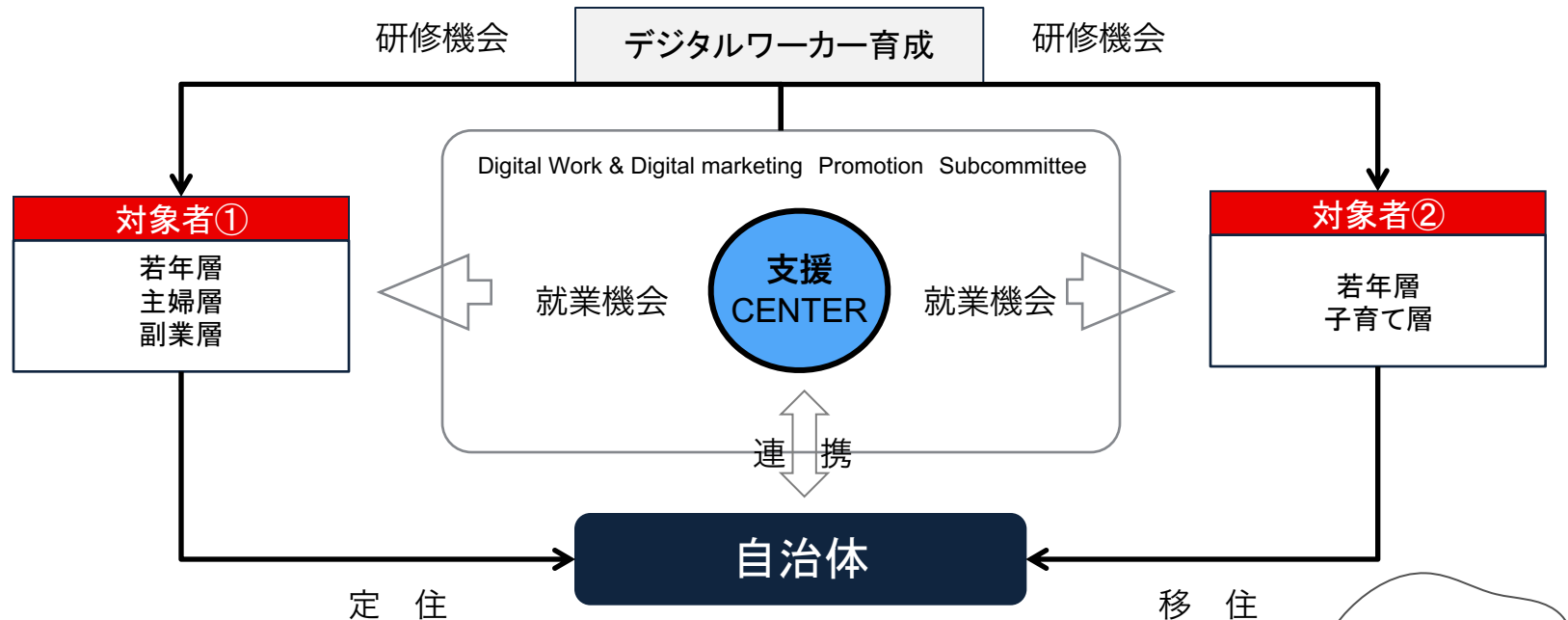


## 事業プラン①

# DIGITAL WORK

### 地方創生SDGsデジタルワーク人材育成推進

地域住民や大都市部の若年層、子育て層を中心にデジタルワークに必要なスキル習得機会を自治体と連携し提供します。テレワークを最大限活用し、大都市部からの仕事を流通させる仕組みを提供し、地域格差のない就業環境を想像します。このことで地域住民の定住化が促進され同時に大都市部からの移住促進を図ります。



支援事業終了  
後も継続が  
ポイント

#### 【概要】期間：2年間

- ①デジタルワーカー育成事業（研修プログラム）の実施：6ヶ月間
- ②デジタルワーカー実践化事業（トライアルワークや実務参加など）の実施：6ヶ月間

※実践化事業は、自治体関連の案件を対象とします。（Webサイトやオウンドメディア、パンフレット、動画制作など）

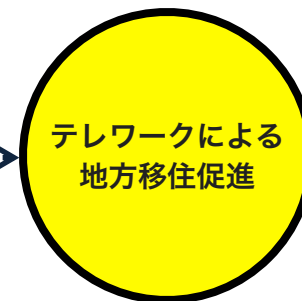
人材育成

■ 教育訓練事業

教育訓練の仕組み



全国クリエイター人材プラットフォーム



人材  
育成

■ 教育訓練事業

デジタルワーク人材育成の仕組み（流れ）

① Webデザイン講座／Webディレクター講座（第1期）

Webサイト制作に必要なスキル習得を目的とする



② Wix実践講座／スマパノ実践講座（第2期）

デジタルワークファクトリーでの実戦スキル習得を目的とする



デジタルワーカー人材育成

## 【訓練内容】

訓練メニューはフリーランス就業の実態に合った以下の2コースを設定する。

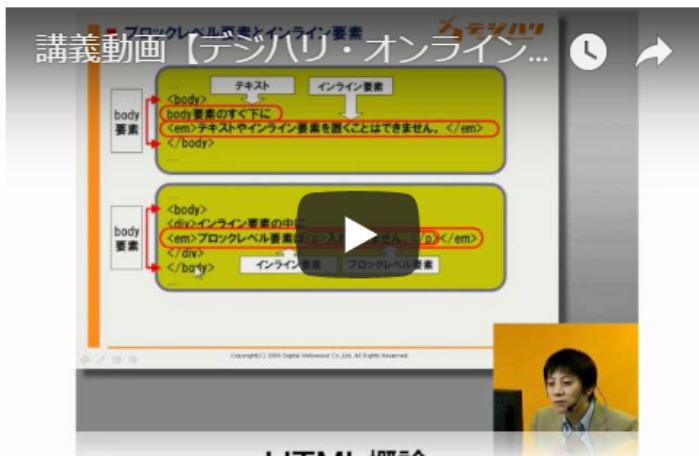
**A: Webデザインコース(定員〇〇名)**

想定業務: Webデザイン・Webシステム開発・Webライティング・Webマーケティング他

**B: Webディレクターコース(定員〇〇名)**

想定業務: 上記Webデザインコース+Webディレクション他

注) Webデザインコースの受講者5名に対しWebディレクターコースは1名の割合を想定。

**3 講義動画**

カタチ・タイプフェイス/カラーイメージ/ピクトグラム/名刺デザイン/著作権/写真イメージ/グラフィックレイアウト/バナー制作/Webデザイン/HTML/インターネット/フォームレイアウト/Webワークフロー/CSSデザイン/Web標準/CSSレイアウト/ユーザビリティ



≪基礎訓練カリキュラム構成（各コース共通）≫

◆訓練時間：ITビジネススキル（8時間）

≪基礎訓練カリキュラム構成≫

- 1) キャリアプランとワークスタイル
- 2) ビジネスプロセスとビジネスマナー
- 3) フリーランスの会計実務と税務
- 4) ビジネス法務とコンプライアンス
- 5) 情報セキュリティと自己責任
- 6) PC基礎知識とネットワーク基礎知識
- 7) フリーランス向けビジネススキル試験

≪応用訓練カリキュラム構成（Aコース）≫

◆訓練期間：6ヶ月間

A: Webデザインコース（定員〇〇名）

≪応用訓練カリキュラム構成≫

Webデザイン基礎＋実践  
Webシステム基礎＋実践  
Webライティング & 画像処理・加工基礎＋実践  
Webマーケティング基礎  
OJTによるWebサイト構築（テスト制作）

≪応用訓練カリキュラム構成（Bコース）≫

◆訓練期間：6ヶ月間

B: Webディレクターコース（定員〇〇名）

≪応用訓練カリキュラム構成≫

上記A. Webデザインコース＋Webディレクション基礎

人材  
育成

## 【デジタルワークファクトリー構想：人材育成プログラム】

当該プログラムは第1期受講者及び地域住民または移住者（移住希望者含む）を対象に実施する。

(1) 名称

「Wix&スマパノ人材育成プログラム」

(2) 定員

〇〇名

(3) 期間

教育訓練期間：最大6ヶ月間（Wix&スマパノ）

実践訓練期間：最大6ヶ月間（Wix&スマパノ）

(4) 成果目標

就業創出（実収入確保） & 継続的な体制整備

【教育コース(案)】 ※教育訓練はオンライン方式とオフライン方式を併用します。

A: Wix実践講座(定員〇〇名)

想定業務：Wixを使用してのホームページ制作業務/運用業務等

B: スマパノ実践講座(定員〇〇名)

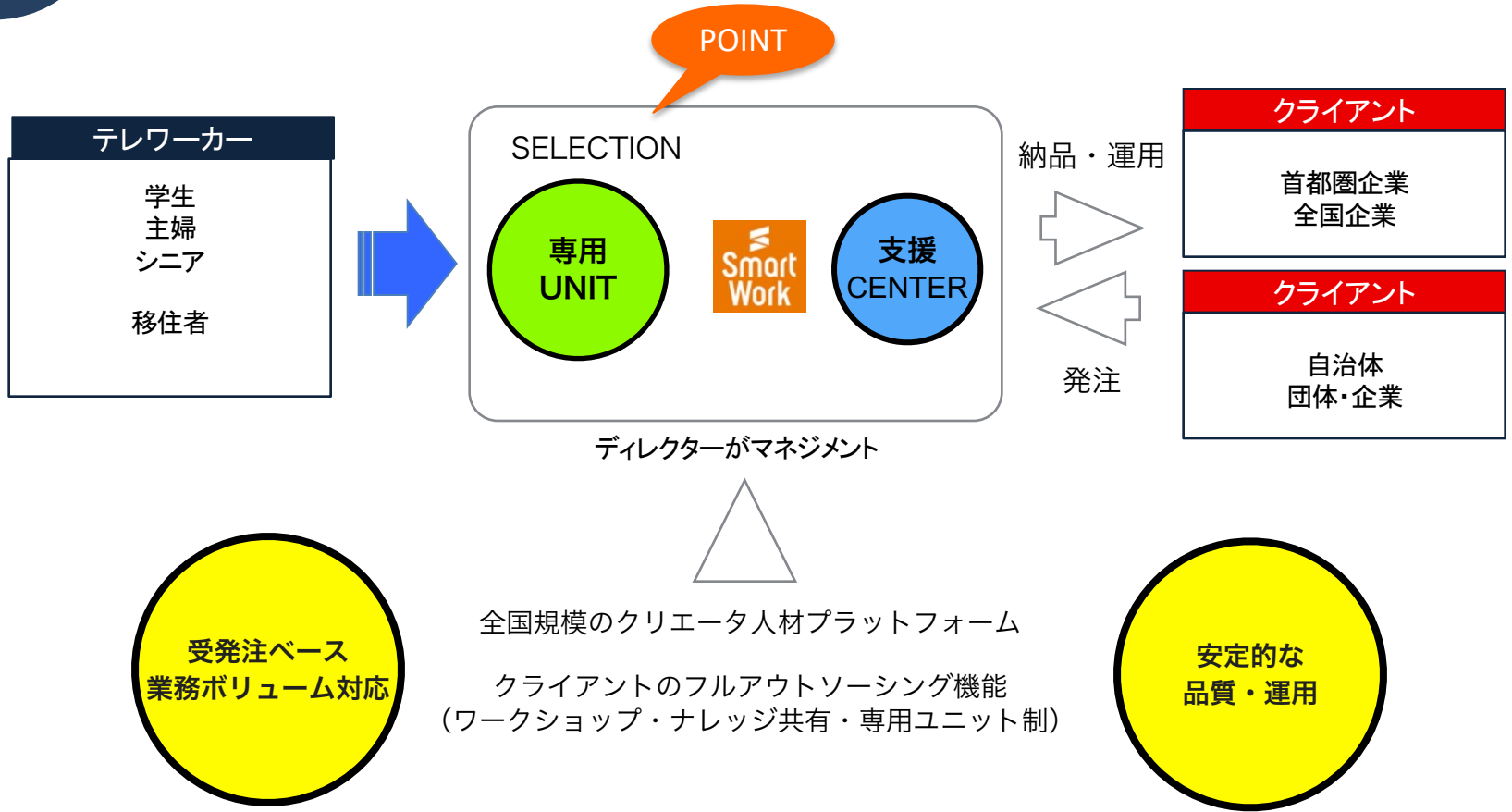
想定業務：スマパノを使用しての360°パノラマコンテンツ制作業務/カメラ撮影及び編集等

注) 上記AB共にオフライン講座（Wix3回/スマパノ3回）の中でワークショップを開催予定。実践形式での講座となります。

仕事  
創出

■ クラウドソーシング事業

プラットフォームの仕組み



## ■ デジタルワーク推進事業企画

【事例：徳之島町デジタルワーク推進プロジェクト 仕事創出プログラム】

仕事  
創出

当該プランは「仕事創出プログラム（仮称）」としてクラウドソーシングプラットフォームSmart Workを活用し、首都圏を中心とした全国規模での仕事創出を図ります。同時に町や公共機関及び地域事業者からのデジタル関連の相談対応による仕事創出も行います。

デジタルで世界へ発信  
(観光振興)



WIX.com

Smapano

全国規模の仕事発注

UJIターン促進

全国からの仕事集積

Smart Work

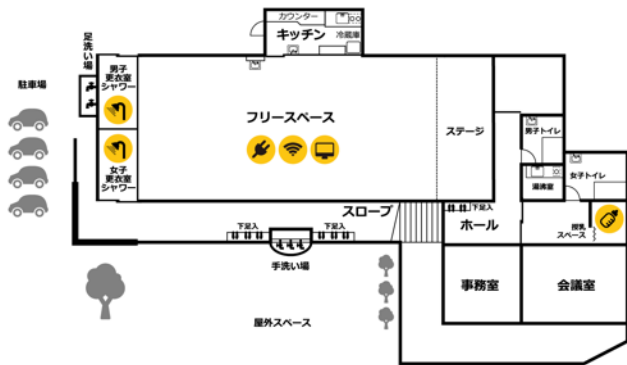
環境  
整備

【事例：徳之島町デジタルワーク推進プロジェクト 環境整備プログラム】

当該プランは「環境整備プログラム」としてコワーキングスペースを開設。  
 廃園になった幼稚園跡地施設を有効活用し、【学び】【仕事】【遊び】を共有する  
 スペースとなっております。



徳之島町 みらい創りラボ



## 事業プラン②

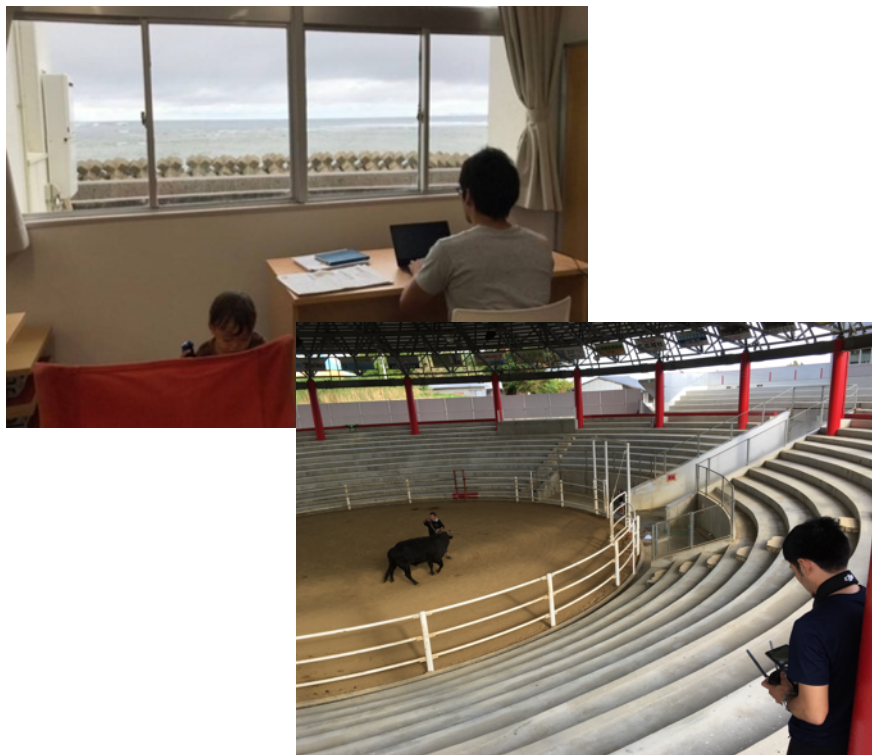
# workation

### ワーケーションで移住促進&観光振興

#### 【事例】徳之島町でワーケーション（日本航空/富士ゼロックス鹿児島と協働）

都市部の動画クリエイター(2名)を徳之島町にワーケーション派遣。徳之島町の観光をしながら観光プロモーション動画の撮影を行い、コワーキングスペースにて編集作業を行う。

ワーキング風景(コワーキングスペースにて)



バケーション風景(闘牛場にて)



ワーケーション報告会風景(JALにて)



# 事業プラン②

# workation

## 企業の研修・合宿サポートでワーケーション推進

### 【事例】研修・合宿施設ポータルサイト（アスノシステム&ホスピタリティエージェントと協働）

企業の研修及び合宿をサポート（施設紹介や手配・企画・運営等）することでワーケーションを推進し、結果として地域の観光施設支援につなげます。

研修・合宿施設検索サイト「CO-MIT(コミット)」

The screenshot shows the CO-MIT website interface. At the top, there is a search bar with 'エリア' (Area) and '人数' (Number of people) filters, and a '施設を探す' (Search facilities) button. Below the search bar, there are two 'RECOMMEND' sections. The first section is titled '新人研修でおすすめの研修施設' (Recommended training facilities for new employee training) and features three cards: 'アワーズイン阪急' (Awards Inn Hankyu), 'アートホテル旭川' (Art Hotel Asahikawa), and 'ホテルマイステイズ五反田駅前' (Hotel MyStays Gotenyama Station Front). The second section is titled 'オフサイトミーティングでおすすめの研修施設' (Recommended training facilities for off-site meetings). The main content area displays a search result for '伊豆長岡温泉 Villa Garden 石のや' (Izu Nagaoka Onsen Villa Garden Ishinoya). The search criteria are: Area: 静岡県伊豆の国市 (Shizuoka Prefecture, Inuyama City), Price: 大人1名: ¥15,500, Capacity: 10名~101名, Area: 55㎡. Below the search criteria, there are several filter tags: #アクティビティ, #エグゼクティブ, #オフサイトミーティング, #チームビルディング, #リゾート, #大浴場・温泉, #専門スタッフ, #無料送迎あり, #駐車場. At the bottom of the search result, there is a navigation menu with '施設トップ', '会場情報', '宿泊', 'お食事', '設備・サービス', and 'アクセス・周辺情報'. A large green arrow points from the search result to the detailed facility image below.

【事例】「伊豆長岡温泉 Villa Garden 石のや」様



## 地域中小企業者のデジタル化を推進する

### デジタルマーケティング強化で販売促進・集客促進を図り、中小企業の成長を支援する

インターネットの急速な普及に伴いビジネス界におけるデジタル化の波は劇的に変化しております。大企業では最新のデジタルマーケティング手法を駆使し、同時にデジタル系人材の確保、育成、さらには外部リソースとの連携等を通じて最大限のマーケティング効果を上げるべく企業努力を行なっております。

一方で地方を中心とした中小企業では圧倒的にデジタルマーケティング分野に行ける対策が遅れており、大企業との格差は広がりを見せております。中小企業が成長するために不可欠なデジタルマーケティングへの理解と適正な導入、運用が成されていない状況が続いており、今後の日本の産業に大きな課題となっているのが現状です。

当協会ではこれらの中小企業の実態を踏まえ、地域に密着した金融機関と連携し、地域の中小企業を対象にデジタルマーケティング分野に行ける啓蒙・啓発セミナーを実施することで気づきの機会を提供し、同時にその後の具体的な取り組みを支援事業を実施します。

地域の中小企業の成長が地域活性化につながり、強いては地方創生に寄与するものと確信しております。



企業  
支援

## デジタルマーケティング推進

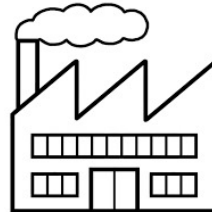


地域事業者

デジタルワークファクトリー

WIX.com

Smofano



デジタル化による  
地域産業振興



pixta.jp - 27152117

地域事業者のデジタルマーケティング推進による就業創出を図る

## 実施概要

### ■ 中小企業向けデジタルマーケティング活用セミナー&相談会（案）

#### <セミナー概要>

#### テーマ：中小企業が成長するための最新デジタルマーケティング活用法（仮称）

参加対象者：地域内の個人事業者及び中小企業者（経営者またはWeb担当者）

参加募集数：30社～

開催スケジュール：2020年〇〇月～

開催時間：2時間程度

参加費用：無料（原則）

#### 参加メリット

- ① 中小企業のデジタルマーケティング実態の把握ができる（自社評価及び分析）
- ② 中小企業のデジタルマーケティング取り組み事例を知ることができる（成功事例）
- ③ 中小企業に必要なデジタルマーケティング分野の取り組み（方法）が理解できる（各種サービス紹介含む）
- ④ 中小企業のデジタルマーケティング関連人材の育成方法を知ることができる
- ⑤ 中小企業向けDMA顧問制度の活用方法を知ることができる



#### <個別相談会概要>

セミナー終了後、参加者を対象に個別相談会を開催（1社：30分程度）

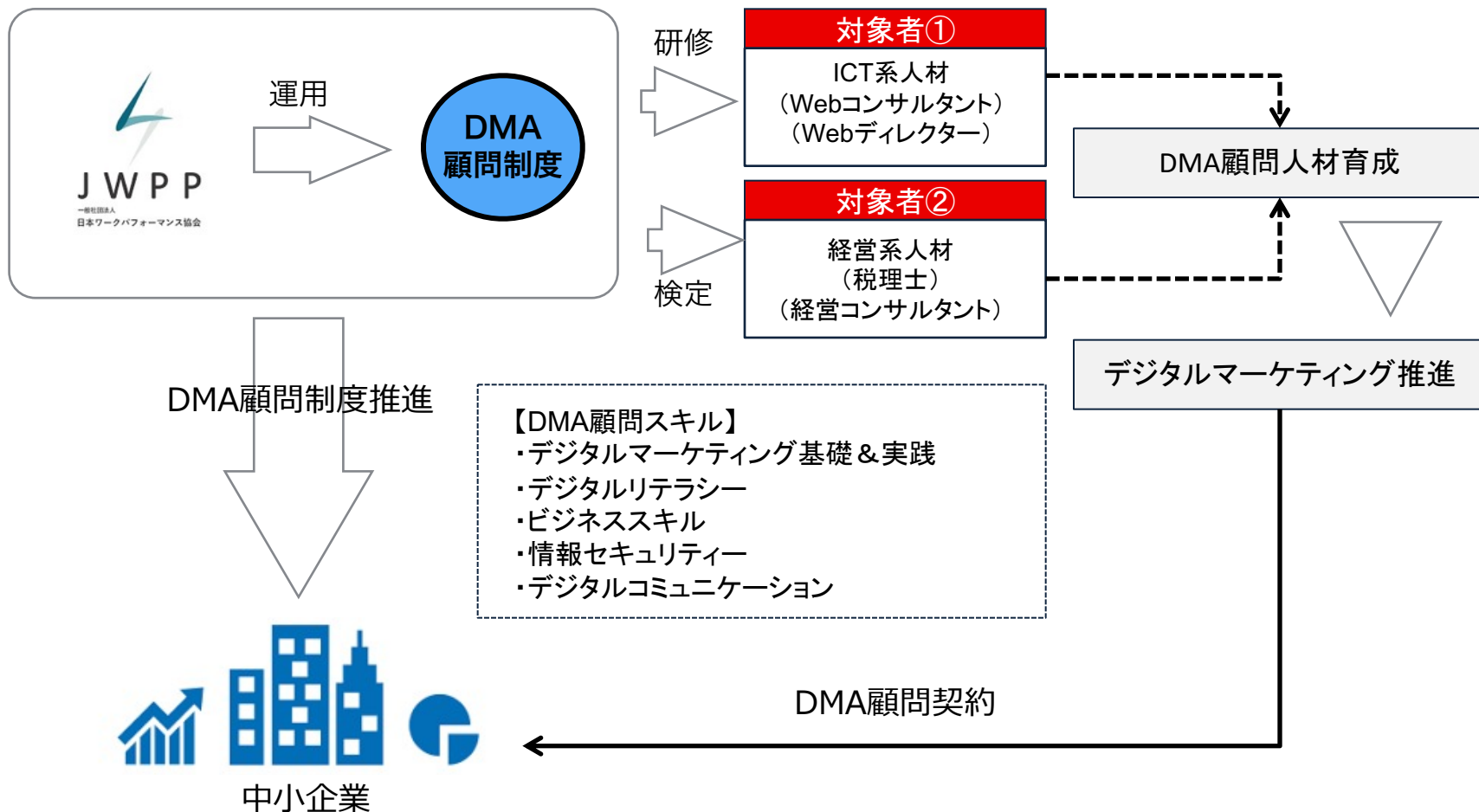


後日、個別訪問（具体的な相談対応）

## 中小企業ICT活用推進事業（DMA顧問制度）

### （1）DMA顧問制度

中小・零細企業のICT活用に関する経営者（または担当責任者）の身近な相談役やアドバイザーとなるDMA顧問プログラムです。ICT（特にデジタルマーケティング）と経営の両面でのスキルを保有した人材との顧問契約になります。



事業  
継続

地域毎にデジタルワークファクトリーを開設し地域に根ざした支援体制を確立の上、事業継続化を図る

具体的には事業を継続させるための受け皿となる専門の一般社団法人またはNPO法人等を開設準備する。当事業を基盤に地域に醸成し、教育も継続してサポートするための支援センターとして当該法人を設置。継続的事業化を協力企業と連携し目指す。同時に地元企業のデジタル関連支援機関としての役割も担う。

※継続的な自立運営可能な体制

デジタルワークファクトリー

WIX.com

Smopano

※上記は地域毎に一般社団法人またはNPO法人化により体制整備を実施(予定)

# ■ デジタルワーク実践支援事業企画提案

## デジタルワーク実践支援事業施スキーム

デジタルワークファクトリー(WIX&スマパノ)を以下のスキームで支援します。



## 本事業の趣旨

小・中学生及び高校生向けIT体験キャンプとは、6～8日間でWeb制作(WIX)や撮影(スチール、動画、パノラマ、ドローン等)、VRコンテンツ制作等を学ぶ短期集中プログラムです。

最先端のデジタル技術を身につけたり、デジタルでのものづくりの楽しさを実感してもらうことを目的としたプログラムです。

学校や塾では学べない、将来のビジネス(仕事)に直結する実践型独自カリキュラムを採用し、

デジタルを通じて子供たちの「クリエイティブ力」や「未来の職業選択肢」を増やすことを目的とし、グローバルで活躍する人材育成に役立ちます。

### 基本

1グループ/5-6人の少人数制でプロが個別サポート

参加者5人～6人のグループにつき、ひとりのメンターが担当します。現役クリエイターやカメラマンとして活躍するPRO人材がサポートすることで、

技術力や想像力はもちろんのこと、将来のビジネスイメージにつながることなど、小・中学生と高校生の成長につながる全面的サポートを行います。



### コース



グローバルスタンダードCMS「Wix」を通じてWebサイト制作を体験するプログラム。  
地域の自然や行事、文化を世界に発振することをデジタルで表現。



最先端VR360°パノラマコンテンツ編集ツール「スマートパノラマ」を通じてVRコンテンツ制作を体験するプログラム。

地域の自然や行事、文化を世界に発振することをデジタルで表現。

### 撮影プログラム

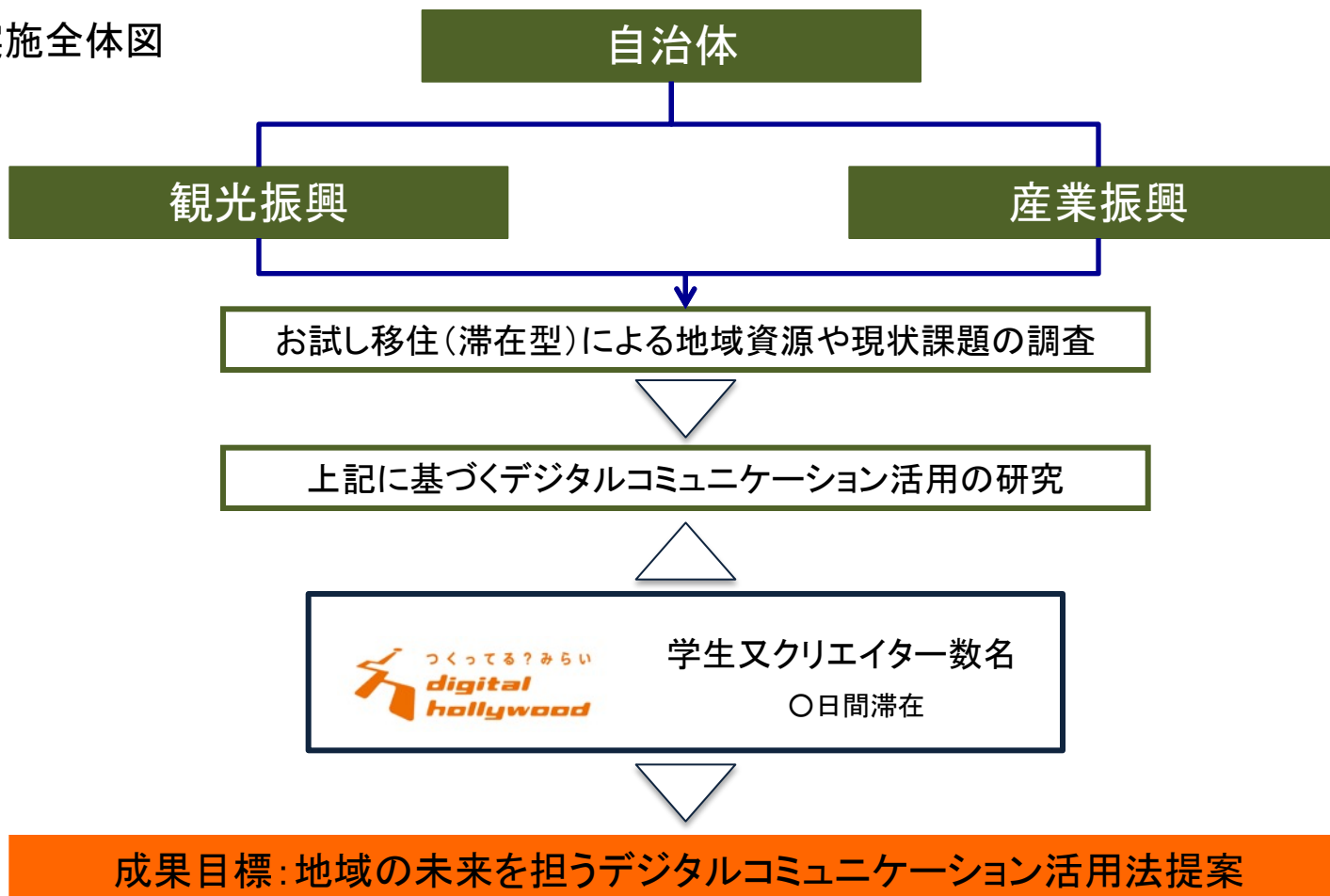
デジタル一眼レフカメラや360°カメラ、ドローン等を使用して各種撮影体験するプログラム。  
地域の自然や行事、文化を世界に発振することをデジタルで表現。

## ■ 「クリエイター体験プログラム」

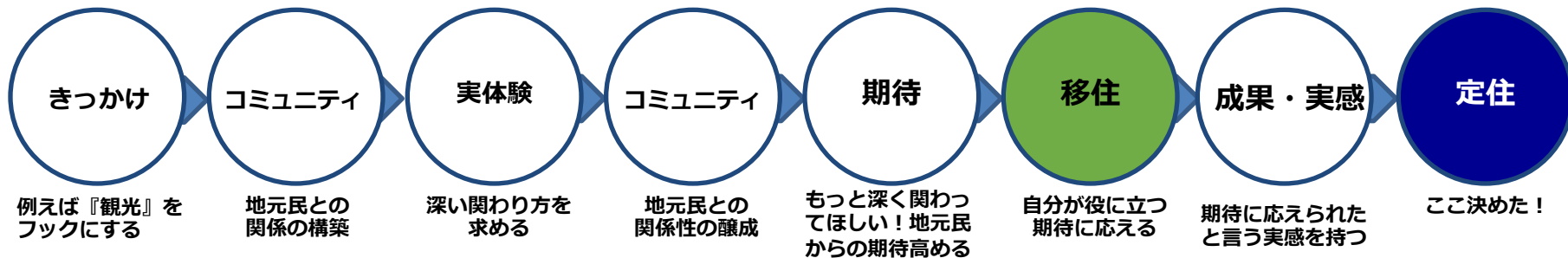
【調査・研究テーマ：デジタルコミュニケーションで地域おこし】

当該事業は「未来ニナウ人材育成プロジェクト（仮称）」の一環として、デジタルコミュニケーションの観点からデジタル&クリエイティブ人材が実際に滞在し、地域の観光資源や産業の実態を調査、その上でデジタルコミュニケーション活用法（SNS活用等）を研究成果として提言します。

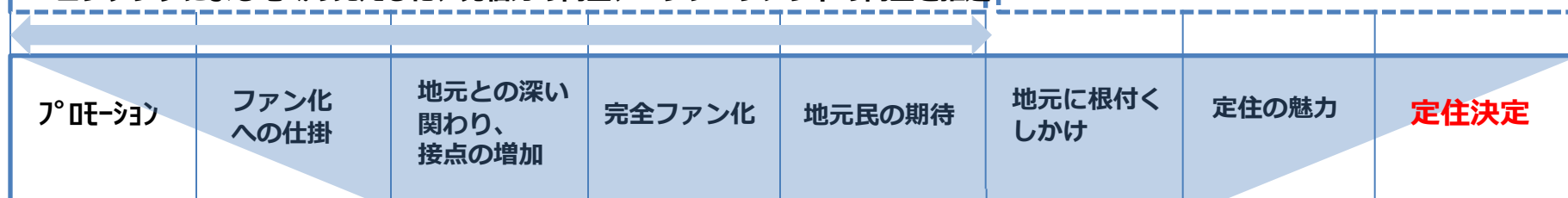
### ■ 実施全体図



## ～移住、定住促進プロセス～



### コンテンツによる地域の見える化、発信力の向上、エンゲージメントの向上を推進



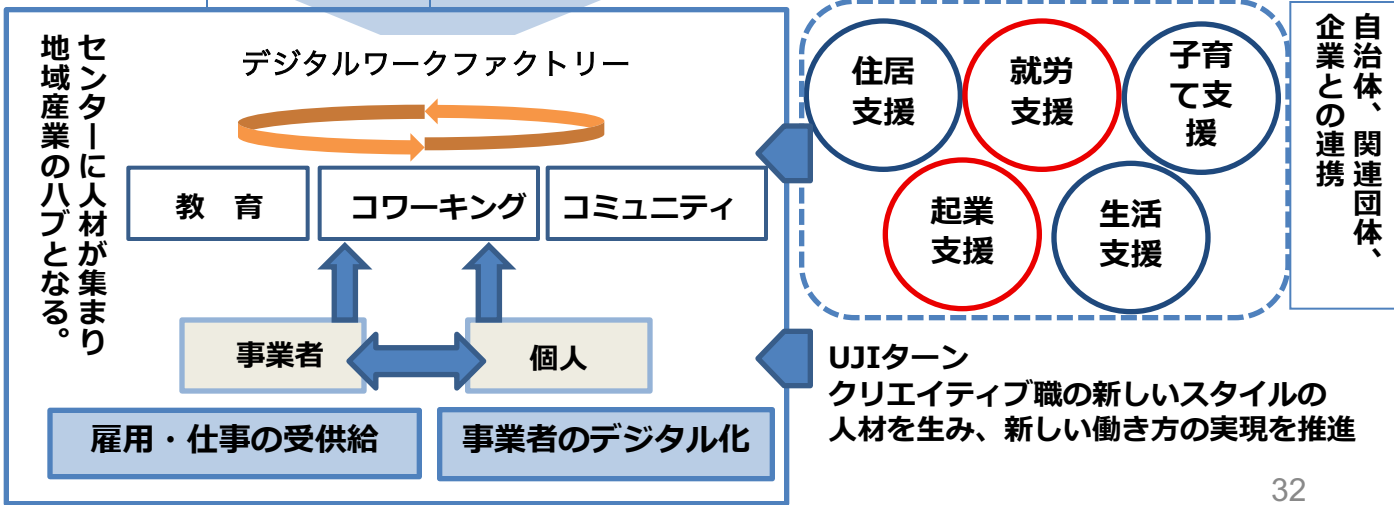
広く世の中に情報発信するプロジェクト

- 【情報収集&発信】
- ①自治体の移住促進ポータルサイト構築
  - ②自治体Webメディアサイトの及び拡散
  - ③移住促進用プロモーション動画制作
  - ④各種施設へのスマートパノラマ導入
  - ⑤海外ネット系メディアへの露出

地元への信頼関係構築

ホスピタリティ  
どう作るか？  
継続的なコミュニケーション  
の手段検討

ワーケーション  
推進





# SDGs

**Digital Work & Digital marketing**

Promotion Subcommittee

お問い合わせ  
スマートワーク株式会社(吉田)

yoshida@smartwork-jp.net